

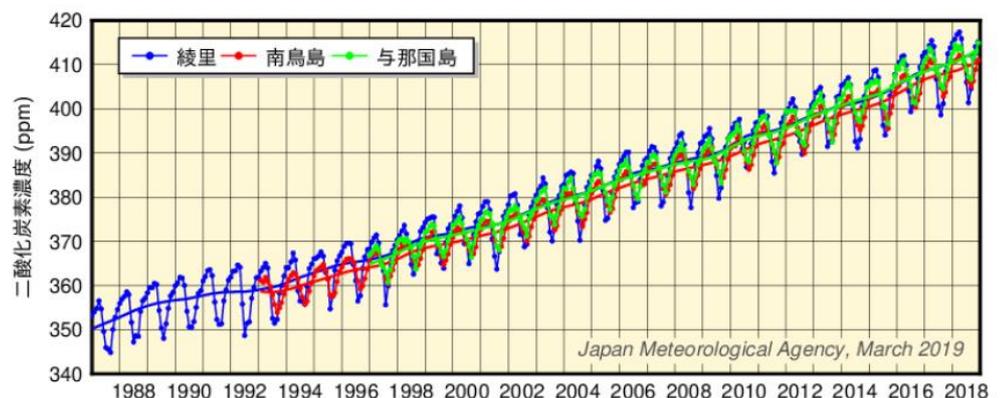


平成最後となった4月27日の活動日には、5名の精鋭が集結。ポカポカ陽気の中、倒木の処分に心地よい汗を流しました。活動フィールドでは移植した「ハリギリ」と「タラノ木」の新芽が芽吹いていましたので、来年は、山菜の王様と女王を天ぷらにして食べ比べできるかな……

5月は毎年恒例のBBQ大会を州見台のジャガーハウスで開催します。前日にメンバーが海釣りに行きますので、天候が良くて、潮が程よく流れて、お魚の機嫌が良ければ、平政・真鯛・イサキなどの魚料理も楽しめる？ 予定で～す(^_-)-☆

加速するGlobal warming～木を見て森を見ず～

温室効果ガス世界資料センター(WDCGG)は、2017年世界のCO2濃度は、前年と比較して2.2ppm増加し405.5ppmになったと公表しました。化石燃料を大量に使用することとなった産業革命前(278ppm)と比較して46%も増加したことになります。



このような中、気象庁が異常気象をもたらすエルニーニョ現象が今夏まで続く見通しで、例年と比較して集中豪雨の発生する可能性が高く、特別な警戒が必要であると指摘しました。

九州北部豪雨や西日本豪雨などの甚大な被害を教訓として、防災への意識を高めて備えを進めることと併せて、温室効果ガスの削減に向けた具体的な取り組みが求められています。

ところで、森林はCO2の吸収源として広く認知されていますが、長いスパンで捉えてよくよく考えますとどうなのでしょう？ 夏になると雑草が繁茂しますが、植物の成長段階においては光合成によって、CO2を茎や葉などに固定します。しかしながら、冬になって雑草が枯れますと、土中の微生物によって分解され、吸収したCO2を大気中に放出します。と、考えますと、雑草では1年スパンで均衡がとれていることになりまますので、森林においても大径木が倒れて土にかえることを繰り返している限り、長いスパンで捉えると、吸収源でも放出源でもなく均衡がとれていることにならないのでしょうか。私たちが森林をCO2の吸収源として思い込んでいるのは、木が成長している期間のみを捉えたものであり、まさしく「木を見て森を見ず」状態なのでしょう。日常生活や仕事の上においても、物事を大局的・俯瞰的に捉えるように意識していきたいものです。(^_-)-☆

新メンバー募集強化月間

新年度を迎え、キノコモクラブでは新規会員を大募集しています。年号も変わるので、心機一転里山整備のボランティア活動でも始めるか、新鮮なお魚を食べたいな、BBQ 大好き…と、思われた方は、武田まで連絡をヨロシクです。



～今回も頑張りましたよ～



山菜の女王「ハリギリ」



タラノ木



生物の多様性「沢蟹」



水産部はヒジキ刈り

次回活動日のお知らせ

日程：平成 31 年 5 月 19 日(日) 日曜日の開催です。お間違えの無いように(^^)

時間：午前 8 時 30 分 市役所正面駐車場の北側又は現地駐車場集合

正午 州見台ジャガーハウス [BBQ] BBQ 参加者は、5 月 15 日までに武田まで連絡を

内容：シノブや雑草退治 終了後に BBQ

メンバー募集 キノコモクラブでは常時メンバーを募集しています。

公務員も仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をどんどんやろうじゃないか。この想いを持つ全国の国・地方の公務員が全国で活躍しております。里山からの恵みを楽しみながら、持続可能な活動を目指しています。特に、若くて体力のあるみなさまの積極的な参画をお待ちしております。興味のある方は、木津川市役所 マチオモイ部の武田までご連絡ヨロシク。